



## 図書館サポーターズだより 明日に吹く風

校内に落ち葉の絨毯が広がり、日に日に寒さが増して行きます。そんな時には暖かな場所で読書をして心身ともに満たされてみてはいかがでしょうか。



### ～図書館サポーター推薦図書～

#### 『魔法の世紀』: 落合 陽一 著 (007.3 || 015)

21 世紀をコンピュータの「奴隷の世紀」ではなく「魔法の世紀」に。スマートフォン、パソコン、テレビ…私たちは当たり前のようにコンピュータを使い、共に生活を送っています。それこそコンピュータ無しでは生活が成り立たなくなるほどに。この本の著者である“現代の魔法使い”落合陽一氏は、人間とコンピュータ、自然とコンピュータの区別なく一体として存在する世界「デジタルネイチャー」を構想し、今までの人間とコンピュータのあり方を根底から覆そうとしています。この本では、「デジタルネイチャー」やコンピュータの発展による未来「魔法の世紀」について、コンピュータの歴史やアートとの関わりを交えて紐解いていきます。かつて SF 作家アーサー・C・クラークが残した「十分に発達した科学技術は魔法と見分けがつかない」という名言のように、私たちが魔法のようなコンピュータを使える日はそう遠くないかもしれません。(Y・Y)

#### 『星座がもっと見たくなる』: 駒井 仁南子 著 (443.8 || Ko57)

この本はタイトルの通り、星座について書かれた本です。皆さんは星座と聞くと、何を思い浮かべますか。恐らく、自分が生まれた月日の星座を思い浮かべる方が多いと思います。しかし、その自分の星座の由来、分かりますか？この本は、そんな私たちに身近な十二星座の紹介から始まります。更に、十二星座の紹介に加え、季節の星座も紹介しています。星座は、神話と密接な関係にあることをご存知でしたか？冬になり夜空を見上げると、おなじみのオリオン座ですが、その由来も神話にあります。

星座や神話のことをあまり知らない方でも絵や解説付きの内容となっているので、とても読み進め易い内容となっています。この本を片手に夜空を見上げてみませんか？是非一度手にとってご覧ください。(M・S)

#### 『日本国憲法を口語訳してみたら』: 塚田 薫 著 (323.14 || Ts57)

大学生になってようやく憲法の重要性について知りました。本来ならもっと早くに知らなければならないものなのに【憲法】なんて遠い存在でした。大学生になった今だからこそ、より新鮮に憲法に対して理解を深められる時期ではないでしょうか。

本書では、少々口の悪いお兄さんが日本国憲法を分かりやすく解説してくれます。私の読み方は、まず左の原文を読み自分なりの理解をはかり、それから右ページの“お兄さん”の口語訳を読み、頭の中で照らし合わせ間違いを修正しながら読みます。憲法は一生涯ついてくるものであり、今日の私たちの生活も憲法が基盤となっています。原文を読むのは抵抗があるが、口語訳を読めば遠い存在だった『日本国憲法』も、身近な存在になるでしょう。また、憲法関連の授業と併せて読めば、手ごたえはあると思います。(N・S)



\* 図書はメインカウンター脇にあります。  
ご利用ください。